

年 頭 の 辭

會 長 直 木 倫 太 郎

輝しき聖戰第三年の春は更にその巨大なる歩武を移して以て東亞新秩序建設の大業を展開し來らんとす之れ何等の感激ぞ、何等の光榮ぞ。我滿洲國は斯くて作り上げられんとする東亞協同體の營に強力なる一環たるのみならず寧ろ新東亞建設の據點としてその前途に課せらるべき使命の如何に重大なるかを思ふ時、その國防的建設に、その産業的建設に、將た又文化的建設に、その總ゆる建設の合理的科學的具現の第一線に任ずるこそは即ち我等建設闘士の本分たり責務たることを誇らねばならぬ。此際我等こそは卒先勇躍、敢て渾身の努力を捧げ、白熱的の活動を續け、各自の分野に於ける最善を盡して以て我滿洲國の飛躍的發展に資し、目覺しき大陸新生の指標たらねばならぬ。曠古未曾有の大建設時代は今や眼前にあり、平素建設の猛者たるを氣負へる我等同志の誇負も矜持も一に懸つてここにあり、この無限の感激より生るる意氣、意氣より生るる尊き信念を傾倒して以て大陸經營の礎石たるの本懐に活くべきのみ。

燦たる新光を仰いで深く會員諸君の勇健を祝す。